

見事に浮き出た忍城

10月16日、古代蓮の里東側の田んぼで「田んぼアートの稲刈り体験作業」が行われました。色鮮やかに描かれた「忍城」と「のぼう様」のうち、今回の催しは忍城の図柄の周りの稲を刈り取り、立体的に見せるというもの。市内外から参加した262人は、ぬかるんだ田んぼに足を取られ、泥まみれになりながらも、夢中で稲を刈り取っていました。古代蓮会館の展望室に登ると、見事に浮き出た芸術的な忍城の絵が目飛び込んできます。



差別や偏見のない社会を

10月16日、教育文化センター「みらい」で第8回北埼玉ヒューマンフェスタが開催されました。

行田市民吹奏楽団によるオープニング演奏で幕を開けたこの催しでは、小・中学生による人権作文発表、各種団体による舞台発表に続き、午後からはTBSテレビ報道局の杉尾秀哉さんによる「人権と報道～情報社会を生きる～」と題した講演が行われました。ユーモアたっぷりのテレビ番組の裏話から始まり、自身の失敗談や体験談を通して、マスメディアの実態、報道による人権侵害などを語りました。



好奇心をくすぐる 子ども大学ぎょうだ

好奇心旺盛な子供たちに学びの機会を提供することも大学ぎょうだが、10月9日から始まりました。

全4回のプログラムの初日となった9日は、入学式の後、「東京スカイツリー」と「映画のしくみ」の2講座が行われました。「映画のしくみ」では、ぬいぐるみなどを少しずつ動かして何枚もの写真を撮影。完成したアニメーションを見た子供たちは、驚きと感動の歓声をあげていました。



街頭を歩いて愛犬条例をPR

飼い主が愛情と責任を持って飼犬を育て、適切なしつけを行い快適な生活環境を確保することを目的として平成21年4月に施行された行田市愛犬条例。この条例を広く知ってもらおうと、10月6日に保健センターと加須保健所の職員が周知活動を行いました。

職員らは街頭を歩きながら、犬の散歩をしている人などに啓発メッセージ付きの散歩用エチケット袋などを配り、同条例をPRしました。

